

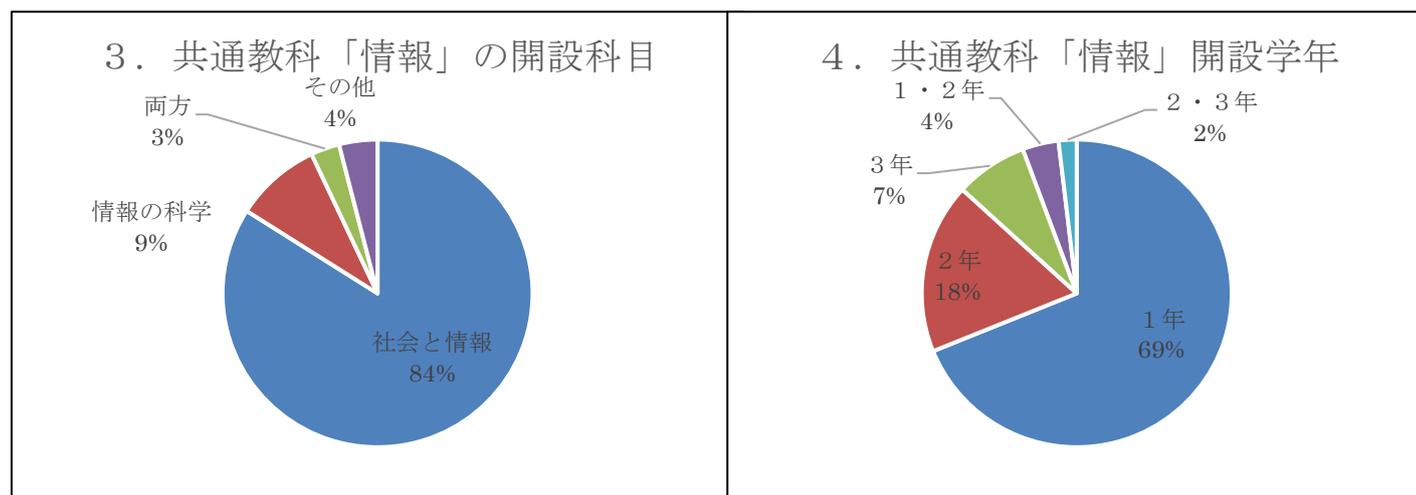
令和2年度高教研情報部会アンケート集計報告

この度は、お忙しい時期にもかかわらず、情報部会アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケートの集計ができましたので、ご報告致します。なお、自由記述の回答に関しては、各校の様子ができるだけダイレクトに伝わるよう、ほぼ原文の形で載せさせていただきました。多くの先生方のご参考になれば幸いです。

調査内容

1. 学校名 2. 管内について

全道各地 96校、100名の先生方からご回答をいただきました。

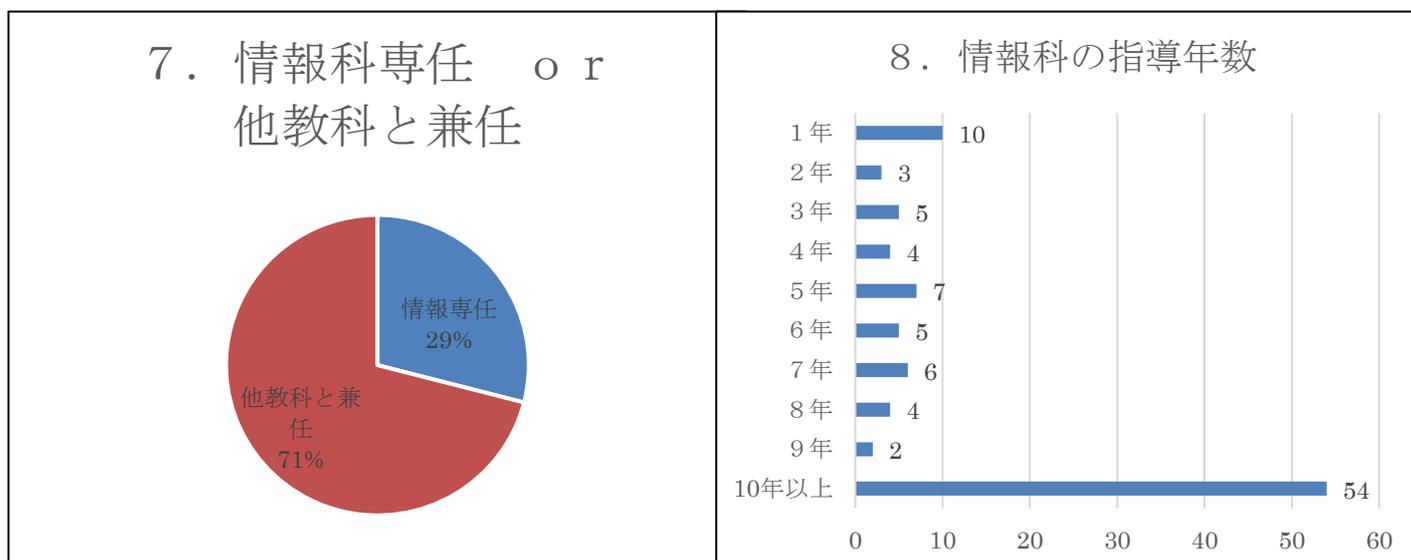


5. .上記3以外の開設科目

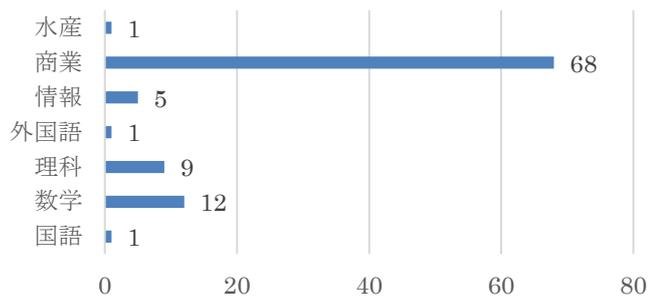
- ・デジタル表現
- ・情報メディアの表現と編集
- ・情報テクノロジー
- ・情報の表現と管理
- ・表現メディア
- ・情報処理（代替）
- ・情報活用
- ・農業情報処理
- ・ネットワークシステム
- ・情報デザイン
- ・学校設定科目「SS 社会と情報」
- ・プログラミング
- ・情報演習
- ・データベース

6. 職について

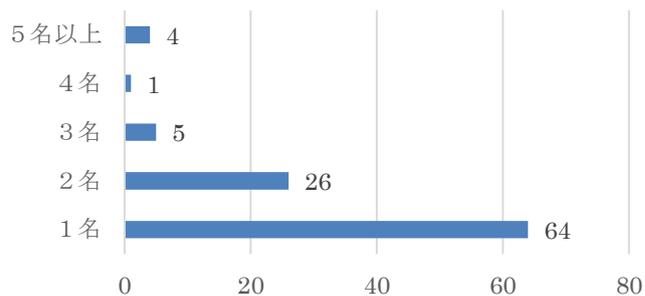
職	人数
教諭	99
期限付教諭	0
その他	1



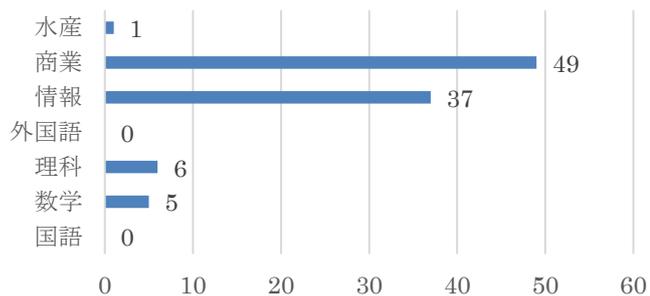
9. 教員採用時の指導教科



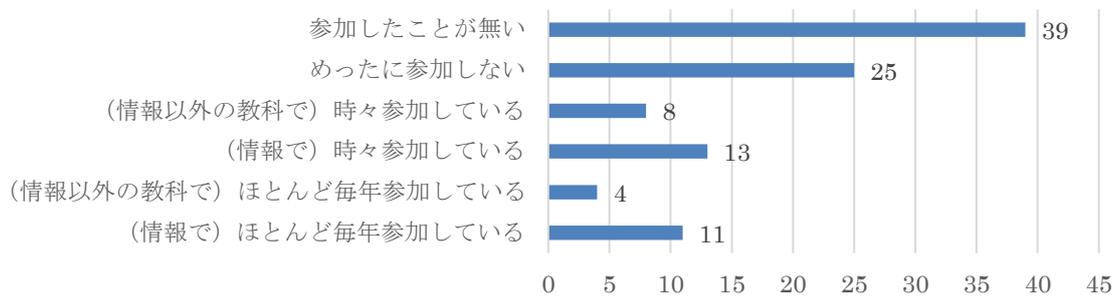
10. 情報科の担当者数



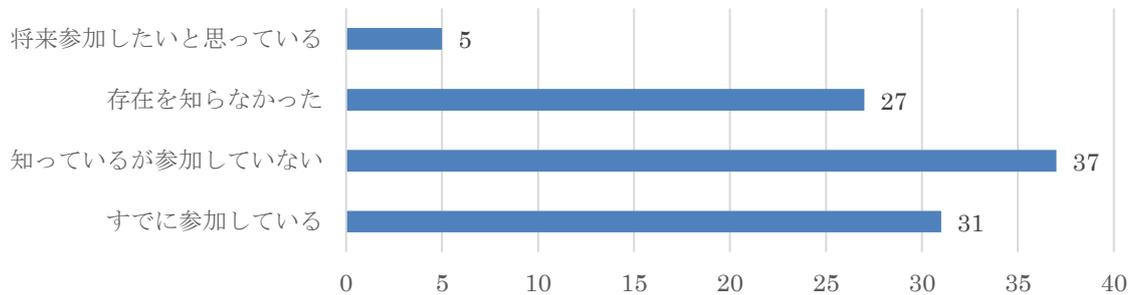
11. 今後主とする指導教科



12. 高教研研究集会への参加状況



13. 高教研情報部会のメーリングリストについて



1 4. 情報科授業の指導内容や特色

- ・ネットワークの基礎知識、デジタル化、情報モラル、ワープロ、表計算、プレゼン、著作権、アルゴリズムなど
- ・総合学習と連携したプレゼンテーションスキルについての学習。プログラミング。
- ・情報モラルの指導 ワード、エクセル、パワーポイントの技術指導
- ・教科書の内容をベースに問題解決学習やプログラミング学習、情報デザイン学習において演習を行っている。
- ・全商ビジネス文書実務検定 3 級受験 通信ネットワークで IPCONFIG、PING コマンドの使用 情報社会における問題解決で総合的探究の時間と連動する様に問題解決の手法学習をしている
- ・社会と情報を教えるのは初めてで、しかも無免許につき臨時免許(?) でやっています。特色などはありません。教科書通りです。
- ・情報モラル Word&Excel HTML など (今年から)
- ・情報の取り扱い上の基本的知識やマナー・エチケット、基本的なアプリ (ワープロ・表計算・スライド) の基本的な使用方法についてゆっくりと指導している。
- ・総合的な探究の時間との教科横断的な連携
- ・1月の全商情報処理3級取得に向けて取り組んでいます
- ・情報リテラシー指導 ・ワード、エクセル、パワーポイントの技術指導 ・課題設定を行っての資料作成と発表 ・インターシップと連携した発表資料作成
- ・2年時に商業一般コースを設定しており、そこでの「情報処理」および検定を意識した指導内容。
- ・Word、Excel の実習。情報モラル、情報デザインの一部
- ・word や Excel などの基本的なことを中心に行っています。
- ・就職希望者が各年次の半数に及ぶため、資格取得に時間を割いています。ワープロ速度演習、情報処理 (エクセル) を中心にし、検定期間が終わった後の時数を利用し「社会と情報」の各単元を抜粋して指導している状況です。
- ・座学と実習を織り交ぜて指導しています。
- ・モラル教育
- ・大学進学後や将来困らないように、プレゼン・Excel・タイピングを中心に進めています。
- ・情報社会についてのニュース・プレゼンテーション
- ・前期の8月までは、情報モラル、情報セキュリティについての座学を実施、その後情報機器の活用について、機械操作を中心に実施。また検定取得の対策を実施している。
- ・基本的なソフトウェア (エクセル、ワード、パワーポイント、アクセス) の実習。「情報モラル」について、PPでまとめる。今年は発表はやらない。ホームページ、グラフィックソフトの実習。
- ・座学の学習内容を実習を通して再確認するような授業を目指しています。
- ・情報モラルの指導に重点を置き、文書処理ソフトや表計算ソフトの 利用の仕方 (検定資格取得を目標) について指導。
- ・教科書の基礎内容と実習により進めている。実習においては主に Word、Excel、PowerPoint 等のアプリケーションを活用し、調べ学習の整理やプレゼンテーションによる活動、表計算ソフトの基礎関数を使ったデータ処理などを演習することにより進めている。
- ・情報倫理 オフィス系ソフトウェアの操作 プレゼンテーションに重点を置いています
- ・実習を多く取り入れた授業を行っています。
- ・検定試験対策
- ・教科書を中心とした指導 実習ではHTML, パワーポイントの指導を行っている
- ・教科書を使用した座学授業とPCを使用した実習授業を半分ずつ 実習ではワープロ・表計算を中心に行っている。
- ・グラフィックデザインについての授業や、プログラミングについての指導を取り入れています。
- ・座学とパソコン実習の併用
- ・教科書どおりの内容に多少アレンジを加えています。
- ・通信制のため、教科書主体の内容となっている。面接時にはできるだけ多くの情報に関わる事柄 (教科書にはないような物も) 触れるようにしている。
- ・本校は、教科農業において科目「農業情報処理」で情報を代替えている。内容は、農業の専門的なデータ処理や学科によってはCADソフトを使用している、後は資格取得等に取り組んでいる。
- ・モラル・インターネット・ワープロ・表計算・プレゼン
- ・基本的にはパワーポイントとプリントでの学習を行っています。実習として、授業開始後5分間タイピング、

音楽編集（波形の切り貼り）、プログラミング（スクラッチ）、Word、Excelに取り組んでいます。

- ・実教出版「30hでマスターoffice2017」を副教材で使用
- ・クラウドサービス利用して授業を実施。クラスの意見をリアルタイムで集計や可視化。CBT形式で確認問題を実施および自動採点。ノートブックを活用したデータ分析の実習。
- ・教科書に沿って指導しています。
- ・エクセル・ワード・パワーポイント等あまり特色はありません
- ・教科書の内容を座学で指導する タブレットやPCを使用した実習
- ・アプリケーションの活用方法を極力減らし、できるだけ教科書の内容を取り扱っている。
- ・教科書に沿った「講義」とword、excel等の実習を交互に行っている。
- ・基本的なソフトを使用して、教科書に沿って授業をしています
- ・基礎をベースに、できるだけ実習の時間に充てるよう努めている
- ・本校では「授業」ではなく「面接」と呼ばれる位置付けです。報告課題（レポート）を提出できるようなフォローをします。年に6回提出するレポートも、授業の一環と言えるかもしれません。
- ・問題解決、数学、課題研究に関連する内容 ・論文作成のための Word ・A0ポスター作成を中心としたPowerPoint ・データサイエンスに関連させた Excel ・Pythonによる基礎的な文法を中心にプログラミングやアルゴリズム ・課題研究の授業と連携して、情報科学に関する課題研究(Raspberry Pi,Python,Kinect,Unity,Mediapipe,ios等を活用して) など
- ・今年度、新学習指導要領への対応に向けてプログラミングの配当時数を増やそうと考えています
- ・Javaを使用したプログラミング
- ・教科書の内容とアプリケーションソフト・プログラミング等の実習
- ・教科書を中心とした知識の習得、実技演習の組み合わせを1時間内で実施
- ・情報モラル 情報活用 (WORD、Excel、PowerPoint)
- ・教科書での座学 ・ワード、エクセル、パワーポイント ・遠隔システムによるプログラミング学習 (年10時間)
- ・PCやオフィスソフトの基本的なスキル、ネットワーク、セキュリティ、モラルなど
- ・情報リテラシーと情報モラル プレゼン能力の向上
- ・コロナの影響もあり、特別なことはできていません。
- ・情報モラル等の他、WORD、EXCELも基礎基本の内容を授業で扱っていて、比重も少なくない。
- ・タッチタイピング、Wordで文書の作成、画像の加工
- ・まだ実施していませんが、NHK講座を有効活用できないか？と思案中です。
- ・MS-office,HTML,JavaScript
- ・教科書を中心に授業展開しつつ、高校卒業後に必要なパソコン操作スキルアップのための別冊「基礎からはじめる情報リテラシー」を活用した実技学習を行っている。
- ・社会人としてのワード、エクセル、パワーポイントの使い方 ・SNSの適切な使い方、メールの出し方 ・インターネットとは何か。 ・PCの仕組み (古PCを分解)
- ・bitarrowを利用したPythonプログラミング
- ・PowerPointを使用したプレゼンテーション Excel・Wordの基礎操作の習得
- ・教科書の内容、教科書の実技を反復練習するための練習問題、進路学習などをプレゼンでまとめて発表するグループ活動
- ・総合と連携し、パワーポイントの授業を行う予定でした。(今年はできませんでした)
- ・チームティーチング
- ・教科書による座学やPCの基本的な利用技術
- ・情報モラルとセキュリティーについて
- ・教科書と副教材に沿って行っている
- ・情報モラルや基本ソフトの使い方
- ・農業科目の栽培実習等で収集したデータなどを活用し、情報を処理し、考察する。
- ・特色は特にないと思います。教科書の内容通りの授業展開です。
- ・情報モラル・マナーや教科書の内容 ソフトは ワード・エクセル・パワーポイントの基本的な操作方法 検定は希望者
- ・今年度の1学年には情報モラル及びofficeを中心とした実技を行っています。例年共通しているのは、プレゼンテーションソフトを活用した自己表現する時間です。異学年との合同授業を積極的に企画し、異学年で語り合うことで、生徒はととも成長します。少人数学校の強みだと思えます。

- ・教科書に沿って、行っています。
- ・情報活用では `arduino` を使った授業を6時間程度行っています。
- ・社会と情報:実技を通して情報に関する知識を養う、情報モラルについて、実生活に関連づけて学んでいる。表現メディア:pc を使い、動画や文書などの作成をする。情報デザイン:メディアに関する知識の習得と、それらを活用したデザインの手法を学ぶ。
- ・文字コード検索実習 アナログ画像のデジタル化と復元実習 いずれも大したものではありませんが生徒の関心やPCの仕組みについて知ってもらおうと行っています。
- ・パソコンに慣れることを第一にした実技重視の指導。今年度はホームページ作成について、単元から特化した形で指導を予定。
- ・知識面では、具体例や身近に活用されているものを具体的に提示し、学習内容と日常生活の関連付けを図っています。

15. 臨時休業中に行った対策について

教材の郵送	73
ネットワークを活用したHR	12
ネットワークを活用した授業	19
電話による情報伝達	16
その他	20

16. 臨時休業中の対応で困ったことは

- ・ネットワーク回線が貧弱で、Zoom等の動画導入が不可だったこと。教育委員会のフィルタリング規制が厳しく、ほとんど何もできなかった。
- ・刻々と変化する状況に対応すること。オンライン授業については環境が整わず、困難だった。
- ・数回の授業で臨時休業に入ったため、課題の選定に苦慮した。
- ・個人資産を使用しなければほとんど何もできない。
- ・Google Classroomの導入
- ・学校HPの自由度の低さ
- ・教材
- ・セキュリティの制限(学校、家庭)
- ・課題の確認
- ・情報科で特に課題等は出ませんでした。
- ・検定受験に向けた実技演習時間の減少。
- ・課題の配布方法 生徒との個別の連絡
- ・授業が行えないこと。スマホやネットを活用することが多い臨時休業だが、そこで必要な情報モラルの指導が行えなかった。
- ・保護者・生徒対応 状況確認など
- ・Classiがうまく機能しなかった。
- ・動画配信も、リモート授業も、全く対応できなかった。
- ・今年度の新採用でしたので、公立学校のルールや本校の方針、生徒や学校のPC環境などを考慮し、自分に何ができるのか悩みました。ほとんど顔を合わせていない1年生にどのような授業内容を学習してもらおうことができるのかと考えました。
- ・今年度現任校に赴任したが学校の状況や生徒の実情もわからないまま臨時休業になったため何も対応できなかった。
- ・Classiについてアクセス集中のため十分な活用ができなかった。
- ・生徒のネットワーク環境がわからず、ネットワークを使って授業をやるべきか判断できなかった。
- ・自宅で大容量通信ができる環境がない生徒が多い。学校側のネットワークが遅い。
- ・生徒の家庭でネットワーク環境がなく、情報を発信できなかった。
- ・生徒間の格差が出ない教材選び
- ・文科省等からの学びの支援予算の縛りが厳しいこと。4~5000円のWebカメラでいいのに、数万円もする会議向けのカメラ以外買えなかったり、次の予算ではカメラは買えなかったり。
- ・生徒・保護者との連絡手段の方法

- ・Zoom 操作の習得
- ・課題の配付・回収
- ・各学年が対応に追われていたので、情報科に質問が多数あった。自宅にネットワーク環境やそれに伴う端末がない家庭の対応。
- ・プリントの配布のみになって、生徒の学力向上とは結びつかないように感じたこと。
- ・面接の動画配信に全校で取り組んだ。
- ・生徒側の回線の保証
- ・Web ページの更新の頻度と量の多さ ネットワークを用いた授業や HR の対応の業務の多さ
- ・スクールネットの回線スピードの遅さと規制の凄まじさ
- ・ほとんど授業がないまま臨時休業に入ったので、課題そのものを準備することが難しかった。
- ・課題を配布したので、特にありません。
- ・スクールネットの不便さ（規制、回線容量）Wi-Fi 設備がない（次年度に向け工事調査中）
- ・Web(Classi)による課題提出を試みたが、WiFi の有無やギガ容量など、生徒の各家庭状況でネットワーク環境が異なるため、全て Web で対応とはならなかったこと。
- ・ZOOM でオンライン授業をする対応など
- ・臨時休校及び分散登校が行われる中での動画配信等の作成を求められたこと。動画の撮影、編集、投稿ができる性能の PC がない中での対応のためほぼ不可能であった。
- ・できる者は動画教材などを作ってアップしてほしいと言われたが、それに対する支援はほとんどなくなり、そもそもネットワーク環境が貧弱で、教員の善意に全面的に依存していた（自分は協力しなかったので偉そうなことは言えないが）。
- ・各家庭のネットワーク環境や PC の利用環境によって、全員に統一した内容が指導できない。特に、実技に関しては難しい。
- ・生徒に家庭学習は望めないで、休むしかなかった。生徒に持たせる端末が欲しいと思いました。
- ・HP 更新が頻繁だったぐらいです。
- ・前期の前半部分がなくなつたため、検定の提示などができなかった。・管理職からネットワークを利用した HR や授業のシステムの構築の依頼があり、スクールネットや道管理 PC の利用、外部回線を視野に入れた考察をしたが結局できなかったこと。
- ・Wifi 環境を持っていない生徒の対応（その生徒は登校し、学校でオンライン授業を発信している先生の授業をライブ視聴）
- ・各家庭で通信環境が違うため、一律してリモートでの授業や講習ができなかった。
- ・メールでのやりとりや、動画配信をしている先生もいましたが、回線の遅さに悩まされました。
- ・在宅勤務時の Web のアップロード（在宅では PDF ファイルなどのアップロードができない）
- ・全員に十分な遠隔授業をするには、時間が足りない。
- ・実技演習
- ・全校生徒の家庭のネットワーク環境が、一律で整っているわけではないため、統一した対応が困難であった。
- ・情報機器の消毒方法
- ・Google サービスなどを活用した場合の、遠隔授業などについて、学校全体として課題は上がりました。セキュリティ、本校生徒内のデジタルデバイド（ソフト及びハード両面で）など、条件を考えた結果、本校では郵送のみでした。
- ・PC を使用した授業展開が行えなかった。
- ・分散登校の実施の判断基準などがきちんと設けられず、医療や感染症の専門家でも何でも無い校長が肌感覚で勝手に判断していたこと。ネットワークを活用した授業の実施などに道教委が明らかに後ろ向きであったこと。ネットワークを活用した HR などは全て自腹出費で用意した機器で行うことしか出来なかったこと。
- ・ネット環境が整っておらず、課題は全学年全て郵送し、登校日に回収するということができなかった。
- ・家庭の通信環境が不明。（とくに新入生）
- ・ネットワーク回線の弱さ。制限が多いこと。
- ・生徒が教材を教室のロッカーに入れていることが多いため、手元に教材がなくても対応できるようにプリントを作成。また、プリント配布時期も他教科との分量を考えて、遅めに配布。

17. 臨時休業中の対応のために購入したもの

デスクトップ PC	1
ノート PC	4
タブレット PC	9
回線増	2
Wifi ルータ	7
その他	18

18. 購入した機器について

- ・ iPad (7th) 40 台+120 台 (予定) など
- ・ ソニーRX-0 II 数量1
- ・ Microsoft Surface 10 台
- ・ PC WEB カメラ 5 台
- ・ Chromebook(購入予定)
- ・ NTTdocomo Wi-Fi STATION HW-01L 2 台
- ・ MacBook Pro 13 iPad air 各 1 台 (個人)
- ・ ビデオカメラ等放送視聴動画を作成するための備品
- ・ NEC タブレット 4 台 超短焦点プロジェクター2 台、Bluetooth 対応 スピーカー、イヤホン各 4 台
- ・ 臨時休校中ではないが、国費予算で Chromebook (Lenovo IdeaPad Duet Chromebook 2in1) を購入。現在 16 台。今後 40 台を目指して予算請求をしています。
- ・ 1 台で 1 ヶ月 10 ギガ
- ・ 進路で wifi ルータを 1 台追加契約
- ・ エックスモバイル (限界突破 WiFi)
- ・ Web 会議、オンライン授業用 PC 2 台 (全定併用)
- ・ iPhone の変換アダプタ
- ・ 機器ではないですが、ディスプレイやキーボードなどの消毒用の使い捨てウェットティッシュなど。室内換気用の扇風機 2 台。
- ・ iPad 3 台
- ・ ミキサー、マイク、USB カメラ
- ・ ルータは購入というより、札幌の業者とレンタル契約です。

19. コロナ感染拡大防止対策

- ・ PC 教室入室前の手指の消毒。
- ・ 机間巡視をやめました。モニターリモートで対応。
- ・ 授業後の手洗いの励行 使用教室の消毒
- ・ パソコン教室使用前の手の消毒 授業終了後の机・パソコンなど使用日用品の消毒 放課後の清掃時の消毒
- ・ 少人数なので空席も多く、席を離して座らせています。
- ・ 入退室時の手指消毒 座席間隔の確保
- ・ PC 教室の入口にアルコール消毒を置いて、入室前に必ず消毒すること
- ・ 教室及びPC 機器の消毒
- ・ 使用した日は、布アルコールで清掃
- ・ 消毒作業、ソーシャルディスタンス。
- ・ PC 室の換気、キーボード、マウス等の消毒
- ・ 生徒 PC の消毒
- ・ 現在でもコンピュータ教室は毎日消毒作業を実施しています。
- ・ 毎日の清掃時に情報処理室の机、椅子、キーボードの消毒
- ・ ペアワーク・グループワーク等の取り組みの削減
- ・ 消毒用スプレーを教室入り口に設置。換気。マスク等の着用指導。
- ・ パソコン室入り口に消毒用アルコール設置
- ・ 教室への入退出時消毒 換気 キーボード消毒
- ・ 情報処理室入室前の手洗いの励行 掃除時、キーボードやマウスの消毒

- ・手の除菌や手洗い、換気など
- ・向かい合わせの座席の間に飛沫防止のためビニールシートを入れた程度。 ・PC 室に入る前に手洗いをさせている。
- ・ノートパソコン、タブレット PC (40 台) 購入予定 WiFi ルーター3 台レンタル済み
- ・教室の廊下側のドアを授業中解放、座席を1つ置きに着席させる。 授業実施前に、キーボード、マウス等の消毒。
- ・コンピュータ教室にシールドを設置した。 アルコールや次亜塩素酸でキーボードを消毒した。
- ・グループワークは、グループチャットに切り替えて飛沫が飛ばないように配慮しました。
- ・消毒 (手指)、マスク着用、のみ
- ・情報処理室使用前の手指消毒、生徒間の座席間隔、放課後等の消毒作業など
- ・換気 (窓は開けないがドアを開けている) キーボード・マウスの除菌
- ・実習教室の除菌
- ・コンピュータ教室の消毒作業 シールド設置
- ・情報処理室に入室する際、手の消毒
- ・PC 教室の消毒作業
- ・キーボード等の消毒
- ・座学中心の授業内容とし、実習の授業頻度を少なくした。
- ・換気と手指消毒
- ・実習の前後に抗菌ウェットティッシュでマウス、キーボードを拭かせている。
- ・手指アルコール消毒、教室内喚起
- ・パソコン室の教師用 PC の前に透明アクリル板と透明シートを設置。隣り合った生徒 PC の間に百均で購入した PP シートを設置
- ・教室入り口にアルコール消毒液を置いて、入室時に手を消毒。
- ・入室前の手の消毒、定期的な換気。機器の消毒。
- ・教室の換気、キーボードの消毒
- ・PC 教室の消毒 (授業後に必ず全台の消毒を行う) 今度、パーティションを導入予定
- ・パソコン教室内での手指の消毒、教室内の除菌作業、室内の換気
- ・パソコン教室の入室の際、除菌スプレーで手を消毒
- ・授業中の窓の開放、生徒のマスク着用
- ・パソコン室に入退室する際には必ず手の消毒をしています 机・キーボード・マウスの消毒をしています
- ・常に換気を心掛けている
- ・元々面接に出席する生徒数が多くはないので、座席を把握すること意外には特にはないです。マスクはしていますが。
- ・毎時間のキーボードやマウスの消毒、換気
- ・PC のアルコール消毒。

20. 授業進度

とても遅れている	8
少し遅れている	43
例年通り	42
やや進んでる	4
進んでる	3

21. 新たに取り組んだ学習活動

ある	7
ない	93

22. その学習活動を具体的に教えてください

- ・EdTech 導入補助金により無料で導入できるというので Life is Tech という会社のプログラミング実習コンテンツを実施予定
- ・授業で実施したスライドやプリント等を、学校外 (ネットワーク環境がある場所) でも見られるようにしている。

・問題解決や課題研究のグループ分け、テーマ設定に関して、web フォームに事前学習教材を掲載して事前学習した上で、回答してもらった。回答した結果をワードクラウドや表などにまとめて問題解決の手法等について反転学習のような学習と課題研究のグループ分け、テーマ設定を円滑に進めることができた。

- ・ベネッセのclassiでの、課題配信をしています。
- ・ソーシャルディスタンス グループ活動の縮小
- ・コロナに関係したネットワークの取り組みや、デマ、中傷などの問題についてどう考えるかといったこと。
- ・序盤に座学を中心に取り入れてみた

2 3. 情報の授業を担当する上での悩み等をご記入ください

- ・校内に担当者が1名のため、気軽に相談できる相手がいない。
- ・今後も発展していくであろうプログラミングの学習について、知識が全くない点。
- ・情報科で指導する知識・スキルの認識の共有（情報科教員間で）
- ・教科「情報」「農業情報処理」との違い。現在代替え処置で行っているが、元々の内容が違うので、このままで良いのかと考えるときがある。
- ・主担当は自分で、TTで実施しているが、他教科の先生にどれくらいまで関わってもらうべきか迷っています。
- ・時間割のアンバランスから生じる学習進度の差、例年であれば部活動による欠席での進度差
- ・利用したい Web アプリケーションが、スクールネットの規制に係ることやメールアドレスを登録しないと利用できないアプリケーションがあること。
- ・授業時数が多い
- ・プログラミングの授業について
- ・情報 I は義務教育で情報リテラシーを学んだとみなして、授業していいのかということ。
- ・突然のPCトラブル
- ・授業研究をすればするほど、研究不足を感じることで。尽きない…。
- ・分掌外にもかかわらず、校内 SE として頼まれる仕事が多い。PC 教室や新たに導入される ICT 機器、クラウドアカウント管理など 環境整備に時間が取られる。
- ・何でも ICT で出来ると思っている先生方が多く、その相談増とコロナ関連の調査が全て丸投げで来るので、その対応で、教科の教材研究が全く出来ない事。
- ・1 教科書のどの範囲を重点的に取り入れるか。 2 教科情報担当ということで、学校内の全てのコンピュータの対応（突発的なネットワークや機器の故障、ソフトの使用法等）をしなければならぬ。これが大きな負担である。 3 スクールネットのフィルタリングが厳しいと感じる（解除申請には 時間がかかる。）
- ・学力、技術の差が大きいことです。
- ・オンライン機材、設備の不足等 情報機器に係る予算の獲得
- ・商業科目「情報処理」寄りの授業になってしまうこと
- ・あまり話せる教員がいないこと。
- ・習熟度やTTをお願いできる環境ではあるが、教員側のPC操作技術が低く依頼できる教員がいない（情報処理検定3級でも厳しい現状）。
- ・担当者が1人なので、気楽な反面、相談する相手もおらず、煮詰まりやすい。何かあったとき代わりとなる者がいない。
- ・スクールネットのフィルタリングのため、検索などにかかなり制限が出てしまい、調べ学習などがしづらい。
- ・マルチメディアの授業に対応するためにソフトウェアがない。 ・インターネットを効果的に活用したいがフィルタリングの規制がきついので調べ学習がやりにくい。
- ・情報モラルに関する授業が難しい
- ・生徒の高校卒業後の将来を考えながら、教科書の知識の習得を中心に学習するべきかパソコン等のスキルアップを中心に展開すべきか、また、上級学年で学習する他教科（商業）を見据えて学習するかについてジレンマを感じています。
- ・初めて担当するが、前年のプリント等を使用して前年をなぞっている状態。科目自体そもそも、どんな事をやればいいのか想像がつかなく困っている。 ・キーボードの打つ速さが生徒によってまちまち。コロナの関係でPCに触る機会が減りキーボードがなかなか上達しない。
- ・他教科と掛け持ちなので授業時数が多い。 授業内容では特にならない。
- ・Zoom などオンラインに対応した形式での授業展開を考えても、現在のネットワーク環境や機器の状況からは難しい。

- ・能力に差がありすぎる
- ・設備の更新やアップデートの遅れ
- ・情報共有の機会が少ない
- ・地理的な環境から、光回線が使用できず、ハードウェアも古い
- ・2年での授業なので、1年時に、行事などに関わって著作権を考えた行動を学ぶことが出来ない。
- ・自身の情報に関する専門的な知識が不足している。いろんな先生方の授業を見たい。そして、やり方を知りたい。

2.4. 研究会等で学んでみたい内容があればご記入ください

- ・リモート学習やオンライン授業について
- ・問題解決学習の指導について、多くの授業例を聞きたい。
- ・免許外なのでいつまで担当になるか不明。研究会などへは参加しづらい。
- ・ネットワーク構築（教材研究というよりインフラ保守のためになってしまっていますが、情報科教員は現状そういう立場に立たされるので仕方なく）
- ・他校はどんな授業を展開しているのか
- ・情報Ⅰについて
- ・オフィスの指導はどのようなことを、どのレベルまで教えているのか。
- ・アクティブラーニング
- ・プログラミング等
- ・プログラミングや授業で使える内容。
- ・パイソン、データサイエンス
- ・プログラミング教育について、本校で今後どのようなソフトウェアを入れて、どんな言語を使って実施しているか、またははっきりと決定できていないので、実践事例などがあれば学びたいと思います。
- ・タブレットを使った授業のための教材作成や指導方法など。
- ・具体的なプログラミング授業実践法
- ・新学習指導要領に対応した授業展開について（特にプログラミング）
- ・Rust 言語や、Kotlin 等のプログラミング言語について
- ・プログラミングの初歩。（初めて学ぶ段階）
- ・必修科目（情報Ⅰ）で最低限指導が必要な内容について ・通年通しての指導内容が学校によってまちまちなので、特に力を入れて取り入れることは何かを学びたい。（「苦手だからプログラミング」的な内容だと、それしかやらないみたいな錯覚を覚えます）
- ・学校教育における情報ツールの可能性について
- ・オンラインでできるプログラミング教材
- ・スマホ用アプリケーションの作成実習
- ・python を活用した表計算処理。
- ・他校での実践例
- ・他の学校の取り組み
- ・実際に学校の環境でおこなえるプログラミング教育について、実践例などを踏まえた情報
- ・モバイルグループウェアの活用について
- ・自分の研究をみんなから評価されたいという人がいれば、ぜひその人の発表発表を聴いてみたい。
- ・情報Ⅱ開設に向け校内のコンセンサスを獲得する方策の協議
- ・情報デザインの授業をみんなで考えるワークショップに参加したい。
- ・スクラッチの導入→授業まで
- ・様々なプログラミングの基礎
- ・授業を配信した実践例や課題などが知りたいです。
- ・GIGA スクール構想の詳細とスケジュール
- ・共通テストで情報が導入されるなら問題の中身について。
- ・「情報のデジタル化」や「ネットワークのしくみ」など、基本的な知識をどうやって指導するか（無味乾燥になりがちなので）。
- ・研究会の要項が定時制までまわってこないで、研究会が年間にどのくらいあって、どの時期に実施されているのかわからない。赴任して3年目ですが.....。
- ・ラズベリーパイ講座

- ・他校での授業展開や知識学習と技術学習の配分など
- ・授業の方策、ほかの学校の実践例、シラバスなどを知りたい。

25. その他、ご意見

- ・情報専門の教員を増やすべき。
- ・お世話になっております。 コロナ等の対応で今年は例年になく活動が求められますが、こうした機会に勉強させていただいています。ありがとうございます。
- ・教科指導よりもGIGAスクールや教育活動再開事業、クラウドサービスの活用などの対応に時間が割かれる。
- ・情報部会のメーリングリストは受信はできていますが、数年前から発信ができませんので現在はROM専用です。
- ・このアンケートの入り口がわかりづらかったです
- ・学校の業務等忙しく、研修会等になかなか参加できない。
- ・アンケートの回答結果をそのつど見させていただいて参考になります。
- ・コロナ禍の中、それぞれの学校ではその対処に忙しかったことと思います。そのため、情報部会としても静か目の一年で終わりそうです。一年で収束してくれれば良いのですが…。 それでも、研究会としての動きは何らかの形で継続して欲しいと願っています。情報部会なのだからオンラインでの活動を模索するのは当たり前だし、個人の研修の成果を蓄積して共有継承することも、今だからこそやるべきであるとも感じます。 生徒の学びを止めるな！というのが教員の使命ならば、教員の学びを止めるな！というのが研究会の使命であると考えます。情報部会は、それをできる存在であると信じたいです。
- ・校内のコンピュータ全般の対応に追われる。これには膨大な時間と労力がかかることがある。昨年度のWindows のアップグレードの業務は忘れられないものとなった。自分はコンピュータ業者と錯覚する業務が多分にある。授業を持たないコンピュータ専門の人員を配置してほしい。
- ・北海道の教科情報のことがよくわかるWebサイト等があれば紹介してください。
- ・プログラミング教育をどのように進めていけばいいのか。そもそも「プ」の字もわからない教員が対応しているので、基礎基本からご教示いただきたい。
- ・質問3・4・5：現行カリキュラムに対しての質問か、新カリキュラムについてかわからない。(時期的に新カリについてかと思いますが、答えは現行カリで解答しています。) 質問15～18：学校としてなのか、情報科としてなのか、個人的になのかかわからない。(情報科主任ではないので、個人の範囲で回答)
- ・プログラミングの必修の準備ができていないので、他校ではどうなっているか知りたいです。